

施設カルテ①

基準日: 令和5年4月1日

施設基本情報

施設名称	渡良瀬グリーンプラザ			施設外観 	
施設概要	管理棟、会議室				
設置目的	足利市緑の基本計画により設置のため。				
設置根拠(設置条例等)	都市公園法, 足利市都市公園条例				
所在地	岩井町465-1				
施設運用開始日	平成11年3月	施設運用終了日			
所管部	都市建設部	所管課	市街地整備課		
分類	大分類	公園	運営形態		指定管理
	中分類	公園	防災拠点指定等		
	小分類	管理棟	配置形態		単独施設
校区	小学校区	桜小学校	借地の状況	借地あり	
	中学校区	第三中学校	財産区分	行政財産	
土地	用途地域	市街化調整区域	目的外使用	無	
	駐車場台数	36 台	建築面積	589.86 m ² 法定容積率 法定建ぺい率	
	敷地面積	207,400.00 m ²	合計延床面積	1,745.14 m ² 200 % 60 %	

財務情報

【市の収入・支出】(千円)

項目/年度	令和2年	令和3年	令和4年
歳出(A)	100,613	37,597	11,996
光熱水費等	0	0	0
修繕料	0	529	0
維持保全費	0	3,828	2,024
指定管理料	100,613	33,240	9,972
その他	0	0	0
土地・建物の使用料	0	0	0
人件費	維持管理	0	0
	事業運営	0	0
事業運営費	0	0	0
歳入(B)	0	0	0
使用料	0	0	0
財産収入	0	0	0
国県支出金	0	0	0
その他	0	0	0
収支(A-B)	100,613	37,597	11,996
対前年度比(%)		▲ 63	▲ 68

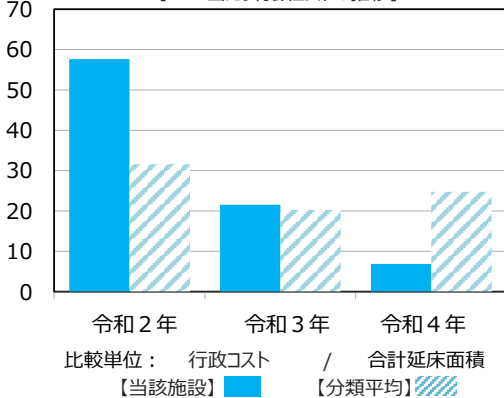
【指定管理者の収入・支出】(千円)

項目	令和2年	令和3年	令和4年
歳出(C)	80,717	40,127	19,097
光熱水費等	2,754	3,366	7,953
修繕費	2,161	1,068	1,019
維持保全費	12,930	7,487	6,446
その他	6,908	330	0
土地・建物の使用料	755	284	22
事業運営費	5,450	5,312	199
人件費	49,760	22,280	3,457
歳入(D)	9,472	38,718	11,745
指定管理料	2,749	36,181	9,972
利用料金等	95	1,363	1,551
自主事業	6,529	1,173	0
その他	100	0	222
収支(C-D)	71,245	1,410	7,352
対前年度比(%)		98.0	▲ 421

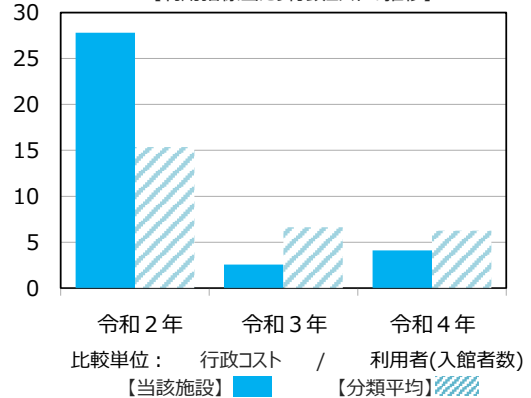
項目/年度	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(A-B)/合計延床面積]	57.7	21.5	6.9
平均に使用する分類	中分類		

項目/年度	令和2年	令和3年	令和4年
[収支(C-D)/利用者]	27.8	2.6	4.1

【1㎡当たり行政コストの推移】



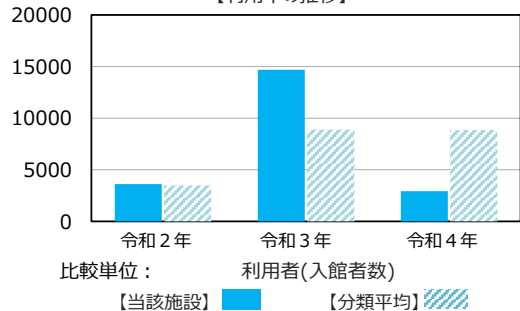
【利用指標当たり行政コストの推移】



施設サービス供給状況

利用指標	単位	令和2年	令和3年	令和4年	対象	
1	利用者(入館者数)	人	3,618	14,682	2,929	◆
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

【利用率の推移】



施設カルテ②

基準日: 令和5年4月1日

建物基本情報

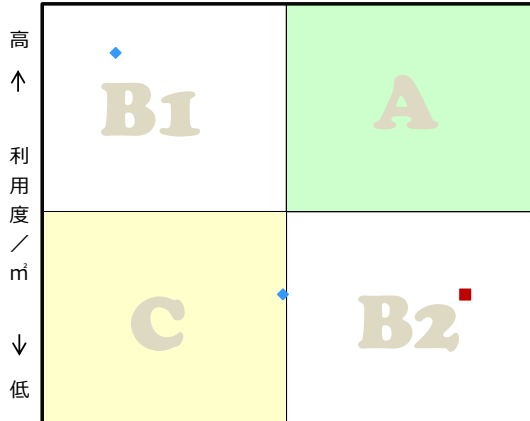
No	棟名称	主体構造	建築年	法定耐用年数	残存耐用年数	階数		延床面積
						地上	地下	
						バリアフリー		
車椅子用エレベーター	施設玄関口スロープ	身障者用トイレ	令和2年	令和3年	令和4年			
1	渡良瀬グリーンプラザ 有	鉄筋コンクリート造 有	平成11年 有	50年 新耐震	26年	3	0	1745.14 m ²
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

自由記載欄

費用対効果分析 (㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)

【費用対効果分析 (建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析 (㎡あたりコストと㎡あたり利用度)



高 ← コスト/㎡ → 低

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象 (分類) の他施設

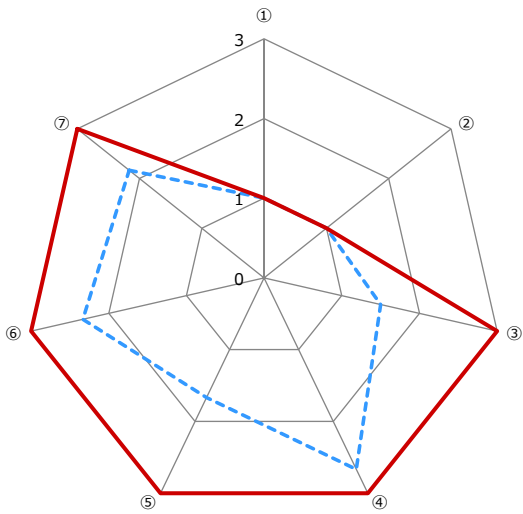
・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の移動平均値である。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B 1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B 2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

施設分析

【施設性能評価】

施設管理者アンケートによる定性的な評価



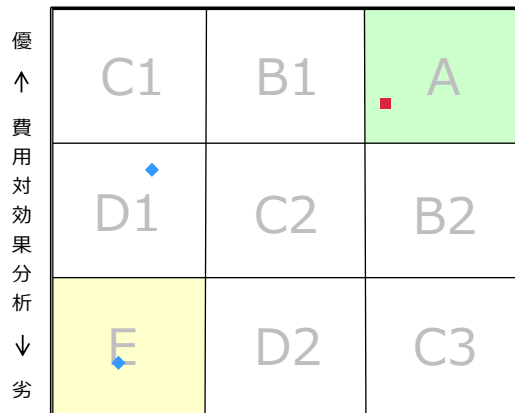
凡例 — 当該施設 - - - 比較対象 (分類) の他施設

番号	項目	チェックポイント
①	外壁	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
②	屋上防水	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
③	給排水設備	竣工・修繕後の経過年数と維持管理・劣化状況
④	空調設備	劣化状況と運転状況
⑤	老朽化状況	設定耐用年数からの残存年数による判断
⑥	耐震化状況	耐震基準、耐震診断実施状況
⑦	バリアフリー対応等	「出入口 (スロープ)、エレベーター、トイレ」についての対応状況

施設性能評価の考え方	不良 ←—————→ 良好
レーダーチャートの大きさ	小 ←—————→ 大

施設評価

【一次評価 (費用対効果/施設性能)】



劣 ← 施設性能分析 → 優

凡例 ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象 (分類) の他施設

区分	対応	方向性の考え方
A	継続	長寿命化を基本とする
B 1	向上	施設性能の向上を検討する
B 2	向上	費用対効果の向上を検討する
C 1	改善	施設性能の改善を検討する
C 2	改善	施設性能と費用対効果, 両方の改善を検討する
C 3	改善	費用対効果の改善を検討する
D 1	見直し	施設性能の見直しを検討する
D 2	見直し	費用対効果の見直しを検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果, 両方の見直しが必要である